

出國報告（出國類別：考察）

參加日本消化系週國際研討會

服務機關：衛生福利部臺南醫院

名稱職稱：許博翔院長、蘇淑芬秘書、陳姿君主任

派赴國家：日本 福岡

出國期間：106年10月11日至106年10月14日

報告日期：106年10月20日

摘要

根據衛生福利部 105 年公布國人十大死因中，癌症已蟬聯 35 年死因首位，其中消化道癌症就占了 6 項，共同的特徵為早期症狀不明顯，當有症狀時已進入晚期而導致治療效果不佳。例如肝病(含慢性肝病、肝硬化及肝癌) 在台灣每年造成的死亡人數高達 13,000 人，但病人透過定期追蹤、治療，了解 B 型及 C 型肝炎患者定期追蹤及積極治療之重要性，就可有效控制肝病危害。因此，在醫院端就須更積極地更新有關消化道疾病之預防策略、最新檢查及治療方案。

日本消化系週 (Japan Digestive Disease Week, JDDW) 研討會為一亞太區國際性研討會，集合了日本國內之胃腸外科醫學會、胃腸醫學會、胃腸暨內視鏡醫學會及肝臟學會外，更聯合了韓國消化系週(Korea Digestive Disease Week, KDDW)及台灣消化系週(Taiwan Digestive Disease Week, TDDW)共同參與，去年參加的人數超過 2,200 人，廣邀護理師、藥師及營養師…等參加討論，可凝聚醫護人員的專業意見並汲取各國的經驗。日本對於消化道疾病之診斷和治療已名列世界前端，研討會中廣泛的討論消化道相關疾病於基礎臨床研究和醫療層面中之最新知識、發現及應用，對本院積極推動之內視鏡檢查、大腸直腸癌篩檢、大腸直腸癌症治療團隊建立及 C 肝藥物治療等推展有莫大助益。

目次

壹、	背景-----	4
貳、	目的-----	5
參、	參加研討會過程-----	5
肆、	參加研討會心得-----	16
伍、	建議事項-----	19
陸、	附錄-研討會相關照片-----	21

壹、背景

根據衛生福利部 105 年公布國人十大死因中，癌症已自 71 年起蟬聯 35 年死因首位，其中消化道癌症就占了 5 項，包括肝癌和肝內膽管癌、結腸直腸和肛門癌、胃癌、胰臟癌及食道癌等，而男、女性前三大癌症死因均為肺癌、肝癌和結腸直腸癌；男性第 4、5 名依序為口腔癌與食道癌，女性則為乳癌與胃癌，消化道癌症就各占了 6 成。統計結果顯示國人之罹病率上升及罹病年齡下降的情況下，預防策略及治療方案就更顯重要。

大部分消化道癌症的共同特徵為早期症狀不明顯，當有症狀時已進入晚期而導致治療效果不佳，例如肝病(含慢性肝病、肝硬化及肝癌) 在台灣每年造成的死亡人數高達 13,000 人，但病人透過定期追蹤、治療，了解 B 型及 C 型肝炎患者定期追蹤及積極治療之重要性，就可有效控制肝病危害。以標準化死亡率觀察，又以食道癌、胃癌及肝癌分別下降 6.5%、3.6%及 2.5%較為明顯，因此，在醫院端就須更積極地更新有關消化道疾病之預防策略、最新檢查及治療方案，降低癌症平均生命年數損失，在安全的前提下追求卓越之醫療品質，以減少疾病對民眾健康之摧殘。

日本消化系週 (Japan Digestive Disease Week, JDDW) 研討會為一亞太區國際性研討會，集合了日本國內之胃腸外科醫學會、胃腸醫學會、胃腸暨內視鏡醫學會、胃腸癌症篩檢醫學會及肝臟學會外，更聯合了韓國消化系週(Korea Digestive Disease Week, KDDW)及台灣消化系週(Taiwan Digestive Disease Week, TDDW)等出類拔萃的專家共同參與，去年參與研討會的人數超過 2,200 人，廣邀醫師、護理師、藥師及營養師…等參加討論，可凝聚醫護人員的專業意見並汲取各國的經驗，研討會中尚有 2,778 篇海報發表及 742 篇專題報告，可以最有效率的方式獲得最新的研究及調查結果。

日本對於消化道疾病之診斷和治療已名列世界前端，研討會中廣泛的討論消化道相關疾病於基礎臨床研究和醫療層面中之最新知識、發現及應用，對於本院在改善特殊檢查區之空間後，增加排檢量能，積極推動之內視鏡檢查、大腸直腸癌篩檢、大腸直腸癌治療團隊建立及 C 肝藥物治療等推展有莫大助益。

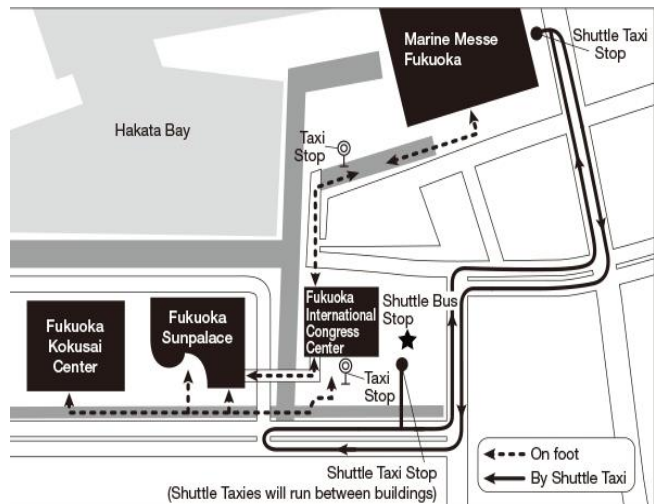
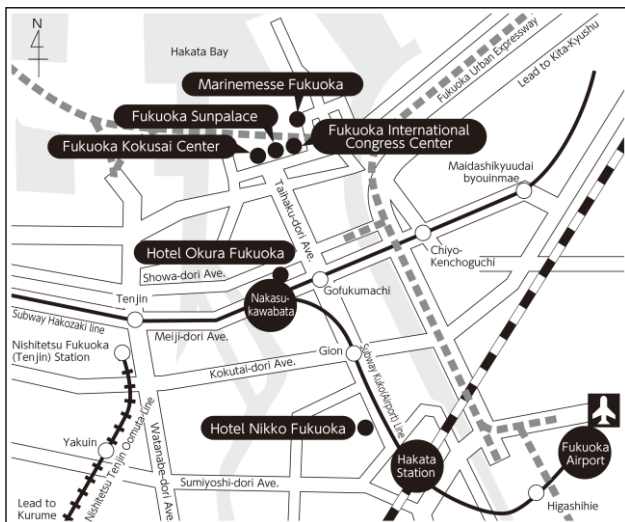
貳、目的

此次本院參加研討會行程，期能達成下列目的：

- 一、 了解預防與治療消化道疾病之最新進展。
- 二、 學習並了解亞太區對於消化道疾病之研究發展。
- 三、 增加學術及醫療體系間之交流，充實新知，培養專業人才。
- 四、 拓展國際視野，及時提升及更新照護品質。

參、參加研討會過程

日本消化系週 (Japan Digestive Disease Week, JDDW) 研討會的會議時程為 106 年 10 月 12 日至 106 年 10 月 15 日於日本福岡國際會議廳舉行，由許博翔院長帶領職與陳姿君主任前往與會，此研討會亦邀請臺灣胃腸科專家出席，增加學術交流及拓展國際視野。



日本消化系週 (Japan Digestive Disease Week, JDDW) 研討會為一亞太區國際性研討會，共安排了 14 個演講會場，可同時容納 8,700 位與會人員，研討會中安排了大會特別演講、主席特別演講、相關教育講座、醫療問題討論會、醫學倫理議題、醫療計劃、相關治療策略方案、JGES 精選課程、座談會、小組討論會及工作坊等。研討會中集合了日本國內之胃腸外科醫學會(Japanese Society of Gastroenterological Surgery, JSGS)、胃腸科醫學會(Japanese Society of Gastroenterology, JSGE)、胃腸暨內視

鏡醫學會(Japan Gastroenterological Endoscopy Society, JGES)、胃腸癌症篩檢醫學會(Japanese Society of Gastrointestinal Cancer Screening, JSGCS)及肝臟學會(Japan Society of Hepatology, JSH), 從10月12日第一天起, 由各醫學會及亞太地區專業人員安排一系列結合胃腸肝膽內、外科之精湛技術及最新進展的主題, 進行專題演講及海報發表, 廣邀護理師、藥師及營養師...等參加討論, 可凝聚醫護人員的專業意見並汲取各國的經驗, 可以最有效率的方式獲得有關消化道疾病之最新研究、預防策略及治療結果, 其研討會相關議程如下:

日程表 10月12日(木):第1日目

	福岡サンパレス				福岡国際会議場			
	アリーナ 第1会場 1,500席	大ホール 第2会場 2,316席	パレスルーム 第3会場 400席	メインホール 第4会場 1,000席	201+202 第5会場 500席	203+204 第6会場 580席	409+410 第7会場 280席	411+412 第8会場 280席
8:00	ブラックアースセミナー1 田辺三善製薬(株) 抗体製剤時代の潰瘍性大腸炎治療 一歩進んだ観点から		ブラックアースセミナー2 (株)日立製作所 胆膵疾患に対する イメージ・ガイド下 治療の最新線	ブラックアースセミナー3 ファイザー(株) バイオ医薬品を中心としたIBD薬物治療の将来	ブラックアースセミナー4 武田薬品工業(株) 進化したメタアナリシスの最新事例紹介	ブラックアースセミナー5 日本製薬(株) 門脈圧亢進症治療の最新線	ブラックアースセミナー6 ダイワファーマ(株) 最新診断と治療の進展における 最新メタアナリシスの活用 -今後の臨床応用について-	ブラックアースセミナー7 バリエル薬品(株) 肝細胞癌に対する がん薬物療法法のUp to date
9:00	W1(内視鏡・消化器・消外) (JGES Core Session) Innovative therapeutic endoscopy 胃・十二指腸腫瘍内視鏡治療の課題解決のための新たな挑戦 司会:矢作直久 山本博徳	W3(消化器・内視鏡・消外) 難治性GERDを取り巻く新知見 司会:木下芳一 三輪洋人	統合1(W) (JDDW・消化器・内視鏡・消外) IPMNの診断・研究の新展開 司会:山上裕機 真口宏介 糸井隆夫	招待講演(肝臓) M.F. Yuen 司会:田中靖人(Y. Tanaka)	PD1(検診・消化器・内視鏡) 胃がん検診におけるハイリスド診断をめぐる 司会:中島滋美 加藤勝章	W7(内視鏡・消化器・消外・検診) 抗血栓薬ガイドライン その後の検証 司会:樋口和秀 土山寿志	The 1st Joint Session between JDDW & KDDW & TDDW (JDDW)	Upper G.I. Current management of gastric cancer in Asia
10:00	招待講演(内視鏡) テーマ未定 司会:未定		S1(肝臓・消化器) HBV再活性化対策のUp-to-date 司会:黒崎雅之 田中靖人	会長講演(検診) 腸がん検診の最新動向 司会:深尾 彰		中継会場	Lower G.I. Therapeutic management of colorectal T1 (SM) carcinoma	
11:00	招待講演(内視鏡) テーマ未定 司会:未定						Liver HCC: New treatment strategy in Asia	
12:00	ランチョンセミナー38 ヤンセンファーマ(株) 田辺三善製薬(株) 新たな生物学的製剤時代の潰瘍性大腸炎治療 -コリマブの可能性-	本部評議員会 (消化器病) 12:30-13:40	ランチョンセミナー39 日本イーライリリー(株) 大腸癌化学療法治療の新展開 一点から線、面へ広がる2次治療	ランチョンセミナー40 ギリアド・サイエンシス(株) ソノスフィルベスC型肝炎治療の実臨床成績と今後の課題 第2回 Gilead Sciences Award 授賞式	ランチョンセミナー41 プリストル・マイヤーズ スクイブ(株) C型肝炎治療の最終章 一残された問題は何か	ランチョンセミナー42 オリンパス(株) JED Projectにおける内視鏡部門システムの実際と将来展望	ランチョンセミナー43 ノーベルファーマ(株) 膵・消化管NETの診断と治療	ランチョンセミナー44 ゼリア新薬工業(株) Tillotts Pharma AG クローン病治療: トリアップかボトムアップか-重症度と予後を見極めて
13:00								
14:00	W2(内視鏡・消化器・消外) (JGES Core Session) Innovative therapeutic endoscopy 大腸ESD/EMRの課題と将来展望 司会:田中信治 豊永高史	W4(消化器・内視鏡・消外) 機能性消化器疾患の病態解明と診療の進歩 司会:屋嘉比康治 乾 明夫	統合2(PD) (JDDW・内視鏡・消外) 腹腔鏡内視鏡 共同手術の今後の展開 司会:比企直樹 藤城光弘	会長講演(肝臓) 腸肝炎/漏さないウイルスとの鑑別 司会:小池和彦 田中康司	招待講演(検診) Helicobacter pylori and gastric cancer E. J. Kuipers 司会:岡 政志(M. Oka)	W8(肝臓・消化器・消外) NASH診療のトピックス 司会:米田政志 徳重克年	中継会場	Biliary, Pancreas Management of IPMN - Asian experience -
15:00				W5(肝臓・消化器) B型肝炎治療の進歩 司会:八橋 弘 四柳 宏	W6(検診・消化器・内視鏡) 大腸がん検診における新しいモダリティをめぐる 司会:斎藤 博 松田一夫			Rising Star Program 1, 2 Evolution of gastroenterology in Asia: Current status and future prospects
16:00								
17:00								
18:00	サテライトシンポジウム75 オリンパス(株) 内視鏡診断は新たなステージへ -Endocytoscopyの有用性と基本手技-	サテライトシンポジウム76 武田薬品工業(株) 大塚製薬(株) ガストリンと消化管の神経内分泌細胞との関係	サテライトシンポジウム77 (株)クリニコ サルコペニアの摂食 嚥下障害とリハ養	サテライトシンポジウム78 富士フイルム(株) レーザーが切り拓く 内視鏡診断・治療の最新線	サテライトシンポジウム79 コウテイ(株) アブレーション治療の新たな展開	会場設営	サテライトシンポジウム80 エドス(株) 手術を変える!多角的アプローチによる 術前管理 -術前支援センターによる術後回復促進の取り組み-	サテライトシンポジウム81 ヤンセンファーマ(株) 田辺三善製薬(株) Shared Decision Making (SDM) がもたらすIBDの新たな治療戦略
19:00						セミナー終了後、情報交換会 富士フィルムメディカル(株)		
20:00								

福岡国際会議場			マリンメッセ福岡		国際センター	マリンメッセ福岡	
413+414	501	502+503	大会議室	サブアリーナ	研修室1・研修室2	アリーナ	
第9会場	第10会場	第11会場	第12会場	第13会場	第14会場	第15会場(デジタルポスター会場)	商業展示
280席	350席	280席	400席	600席	各207㎡	3,680㎡	3,370㎡
ブラックファーストセミナー8 エーザイ(株) 眠れない消化管疾患	ブラックファーストセミナー9 アボット ジャパン(株) Life Over Cancer Cachexia along with Immunonutrition	ブラックファーストセミナー10 ロシュ・タイアグ/スライクス(株) B型肝炎の検査・治療の進歩と今後の展開	ブラックファーストセミナー11 第一三共(株) 悪性腫瘍と血栓症 ー私共のすべきことー	ブラックファーストセミナー12 大塚製薬(株)・栄研化学(株) いま、求められている胃がん検診、 胃がん予防 ー検診から診断判定、除菌後までー	セミナー設定なし		
中継会場	S2(内視鏡・消化器・消外) 大腸SM癌の診断と治療のストラテジー 司会: 斎藤 豊 堀田欣一	招待講演(肝臓) Autoimmune liver diseases in Asia S.-H. Jeong 司会: 田中 篤(A. Tanaka) IS-S1(肝臓・消化器・内視鏡) アジアにおける自己免疫性肝疾患 (Autoimmune liver diseases in Asia) 司会: 大平弘正(H. Ohira) 田中 篤(A. Tanaka)	W10(肝臓・消化器・内視鏡・消外) 肝硬変合併症対策の進歩 司会: 中牟田誠 寺井崇二	S3(消化器・内視鏡・肝臓・消外) 慢性炎症と消化器発癌 司会: 大草敏史 渡辺 守	会場設営	デジタルポスターセッションが午後 9:30 ~ 11:30	商業展示
ランチョンセミナー45 シスメックス(株) ポスト肝炎ウイルス時代における治療後モニタリング	ランチョンセミナー46 大塚製薬(株)・武田薬品工業(株) 抗血栓薬起因性消化管傷害の治療戦略	ランチョンセミナー47 大日本住友製薬(株) 薬剤, デバイス, 支援システムを駆使した肝臓治療の実際	ランチョンセミナー48 マイランEPD合同会社 慢性便秘症診療ガイドラインから紐解くーこれからの慢性便秘診療についてー	ランチョンセミナー49 第一三共(株)・アストラゼネカ(株) 理想の酸分泌抑制療法を求めて	セミナー設定なし		
中継会場	W9(肝臓・消化器・消外) 肝線維化研究の新たな展開 司会: 汐田剛史 河田則文	IS-S2(消化器・内視鏡・消外) 膵癌治療の最近の進歩 (Recent progress in treatment of pancreatic cancer) 司会: 竹山宜典 (Y. Takeyama) R. D. Schulick	特別講演(内視鏡) 肥満症に対する内視鏡的治療と腹腔鏡下手術の現状と展望 司会: 太田正之 炭山和毅	W12(消化器・内視鏡・消外) 非切除高齢者胃癌患者のマネージメント 司会: 佐々木雅也 國崎主税	JDDW 2017 Hands on seminar1 (内視鏡) EUS-FNA & ERCP コーディネーター: 安田一朗 良沢昭銘	デジタルポスターセッション(消化器病) デジタルポスターセッション(内視鏡) デジタルポスターセッション(肝臓) デジタルポスターセッション(外科) デジタルポスターセッションが午後 14:30 ~ 16:30	
サテライトシンポジウム82 東芝メディカルシステムズ(株) 最先端超高精細CTと超音波 Shear Wave Elastographyの臨床応用	東部会評議員会(肝臓) 17:30-18:30	サテライトシンポジウム83 第一三共(株)・アストラゼネカ(株) 薬剤性消化管傷害の治療戦略 眠れぬ消化器内視鏡医ー薬剤性消化管傷害を考えるー	サテライトシンポジウム84 ゼリア新薬工業(株)・アステラス製薬(株) 上腹部症状, どのように診療されていますか? ープライマリケアから専門外来まで, それぞれの立場で考える討論会	サテライトシンポジウム85 バルティスファーマ(株)・富士フイルムRFファーマ(株) そうだったのか! 神経内分泌腫瘍ー明日の診療から役立つ診断・治療のトピックスー			

8:00
45
9:00
30
40
10:00
11:00
30
12:00
30
13:00
40
14:00
30
15:00
16:00
30
17:00
30
18:00
30
19:00
30
20:00

日程表 10月13日(金):第2日目

	国際センター		福岡サンパレス		福岡国際会議場			
	アリーナ	大ホール	パレスルーム	メインホール	201+202	203+204	409+410	411+412
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場
	1,500席	2,316席	400席	1,000席	500席	580席	280席	280席
8:00	ブレイクファーストセミナー13 富士フィルムメディカル(株) 先進者に聞く胃内視鏡 検診の現状と課題	ブレイクファーストセミナー14 ガレックス・メディカル(株) 胆膵ステントフォーラム2017 ー進化するプラスチックステ ントPart4ー	ブレイクファーストセミナー15 中外製薬(株) 血液凝固異常常症とC 型肝炎	ブレイクファーストセミナー16 科研製薬(株) 術後癒着防止を意 識した腹腔鏡下大 腸手術の工夫	ブレイクファーストセミナー17 EAファーマ(株) 難治性逆流性食道 炎に対するPPI用量 分割投与の有用性	ブレイクファーストセミナー18 日本製薬(株)・ あすか製薬(株) より安心して安全な 内視鏡を目指して	ブレイクファーストセミナー19 (株)ツムラ 術前管理における薬方やサル コペニアの意義 ー朝から元気になる「深い」昏 ー	ブレイクファーストセミナー20 エーザイ(株) 肝癌診療ガイドラ イン
9:00			[Imaging diagnosis of gastrointestinal neuroendocrine tumors]					
9:30	PD2(肝臓・消 化器) SVR100%を目 指すDAAs治療 司会:竹原徹郎 鈴木文孝	W13(内視鏡・消 化器・消外) 膵・胆道癌に対 する内視鏡的 診断法の新た な展開 司会:五十嵐良典 安田一朗	統合3(PD) (JDDW・肝臓・ 消外) 非B非C肝臓の 実態と対策 司会:具 英成 金子周一	W14(消化器・ 内視鏡・肝臓・ 消外・検診) 消化器疾患治 療の新しい周 術期管理 司会:橋本悦子 花崎和弘	招待講演(消化器) X.-Y. Xie 司会:白鳥敏子(K. Shiratori)	S4(内視鏡・消 化器・消外・検 診) 消化器内視鏡 のリスクマ ネージメント ー医療事故調 査委員会の現 状からー 司会:加藤元嗣 松田浩二	倫理関連セッ ション (JDDW) 倫理指針の徹 底理解 司会:渡邊能行 久津見弘	
10:00					W16(消化器・ 内視鏡・消外) 十二指腸非乳 頭部腫瘍をど うする? 司会:一瀬雅夫 阿部展次			中継会場
11:00								
11:30								
12:00								
12:30								
13:00	ランチョンセミナー50 アッヴィ合同会社 新たなステージに入っ たC型肝炎治療 ー同一レジメンの更なる 進展ー, 第2回 AbbVie Award 授賞式	ランチョンセミナー51 Cook Japan(株) Zilver635以降、肝 門部胆管ステ ンティングの何が変 わったのか?	ランチョンセミナー52 (株)JIMRO これからのIBD診 療におけるアダカ ラムの役割を考 える	ランチョンセミナー53 プリストル・マイヤーズ スクイブ(株)・ 小野薬品工業(株) 胃癌療法の新時代	ランチョンセミナー54 (株)ツムラ 上腹部症状に対す る最適な治療とは ー漢方治療のエビ デンスから探るー	ランチョンセミナー55 MSD(株) C型肝炎治療にお ける課題と経口剤 治療の実際、 第16回 MSD Award 表彰式	ランチョンセミナー56 大鵬薬品工業(株) 大腸癌化学療法 の治療戦略 ー内服抗癌剤の 有効活用ー	ランチョンセミナー57 ゼリア新薬工業(株)・ 協和発酵キリン(株) 潰瘍性大腸炎の長 期寛解維持を目標 とした基本治療の最 適化
14:00		万里一空ー消化器内視鏡の 原点回帰そして革新と伝説ー						
14:30	IS-S3(消外・消 化器・内視鏡) 食道胃接合部 癌への治療戦 略 (Treatment strategy for the esophagogastric junction cancer) 司会: 夏越祥次(S. Natsugoe) 北川雄光(Y. Kitagawa)	会長講演(内視鏡) 伊藤 透 司会:田尻久雄	統合4(W) (JDDW・肝臓・ 消外) 肝移植におけ る抗ウイルス 療法の諸問題 司会:菅原寧彦 上田佳秀	W15(消化器・ 内視鏡・消外) 胆膵領域にお けるadvanced imaging 司会:岡崎和 窪田敬一	特別講演(消外) テーマ未定 谷田大輔 司会:北島政樹	招待講演(肝臓) H. J. Alter 司会:田中榮司 (E. Tanaka)	日本消化器病 学女性医師・研 究者の会 (JDDW) 先輩に学ぶ: 世代を超えた キャリアの積 み方・活かし方 司会:高原照美 島田光生	中継会場
15:00		PD3(内視鏡・消 化器・消外・ 検診) H. pylori除菌後 胃癌の問題点 司会:福田眞作 村上和成			W17(消外・消 化器) 脾疾患にお ける腹腔鏡手術 は有用か? 司会:遠藤 格 中村雅史	W18(肝臓・消 化器) C型肝炎SVR例 の予後改善 司会:西口修平 朝比奈靖浩		
16:00								
17:00		日本消化器内視鏡 学会授賞式						
18:00	サテライトシンポジウム86 コヴィディエンジャパン(株) 教えたい!教わりた い!腹腔鏡下胃癌リ ンパ節郭清手技 ー標準へ拡大郭清ー	評議員会 (内視鏡) 17:30-18:45	サテライトシンポジウム87 大日本住友製薬(株)・ 東レ(株) C型肝炎治療の最近 のトピックス	サテライトシンポジウム88 オリンパス(株) 最新技術による大 腸内視鏡への挑戦 ー診断から治療ま でー	サテライトシンポジウム89 武田薬品工業(株) IBD最新の話 消化器免疫を含め て	会場設営	サテライトシンポジウム90 プリストル・マイヤーズ スクイブ(株) B型肝炎治療のUp-to-date ーFunctional cureを目指し てー	サテライトシンポジウム91 あすか製薬(株) 非代償性肝硬変 ー病態理解と治療 法の進歩ー
19:00						セミナー終了後、情報交換会 オリンパスメディカルシステムズ(株)		
20:00								

福岡国際会議場			マリンメッセ福岡		国際センター	マリンメッセ福岡	
413+414	501	502+503	大会議室	サブアリーナ	研修室1・研修室2	アリーナ	
第9会場	第10会場	第11会場	第12会場	第13会場	第14会場	第15会場(デジタルポスター会場)	商業展示
280席	350席	280席	400席	600席	各207㎡	3,680㎡	3,370㎡
ブレイクファーストセミナー21 富士レボオ(株) B型肝炎診療のパラダイムシフト -HBVは治癒するか?-	ブレイクファーストセミナー22 大鵬薬品工業(株) 進化する胃癌周術期化学療法	ブレイクファーストセミナー23 グラクソ・スミスクライン(株) HBVマーカーとインターフェロン治療	ブレイクファーストセミナー24 武田薬品工業(株)・大塚製薬(株) Hp除菌の最新治療とHp陰性時代の上部消化管障害	ブレイクファーストセミナー25 メルクセローノ(株) 個別化が進む大腸癌治療-発癌の分子基盤に基づいて理解する-	セミナー設定なし		
How we have built up scientific comrades against gastric cancer	招待講演(消外) H.K. Yang 司会: 世子三津留(M. Sasako)	IS-S5(消化器・内視鏡・肝臓・消外) 消化器癌における化学療法と免疫療法の最前線 (Recent progress of chemotherapy and immunotherapy for gastrointestinal cancers) 司会: 古瀬純司(J. Furuse) A. B. El-Khoueiry	W19(内視鏡・消化器・消外・検診) 内視鏡胃癌検診の実情と今後の展開 司会: 河合 隆 北方秀一	PD5(消外・消化器・内視鏡) 閉塞性大腸癌に対する治療戦略 《アンサーパッド》 司会: 幸田圭史 齋田芳久	JDDW 2017 Hands on seminar2 (内視鏡) 大腸挿入法 コーディネーター: 榎田博史 松田尚久	デジタルポスターセッション(消化器病)	International Poster Session
中継会場	IS-S4(消外・消化器) 胃癌切除後の再建における私のこだわり(開腹手術・腹腔鏡手術) (My favored method for reconstruction after gastrectomy (open surgery and laparoscopic surgery)) 司会: 寺島雅典(M. Terashima) 大辻英吾(E. Otsuji)					9:30~11:30	
ランチョンセミナー58 中外製薬(株) 周術期胃癌化学療法におけるXELOX療法の位置づけ	代議員会(がん検診) 12:30-13:30	ランチョンセミナー59 大塚製薬(株) 肝疾患とサルコペニア & OTSUKA Award 2017	ランチョンセミナー60 コフティエンジャパン(株) カプセル内視鏡の未来-拡がる大腸カプセル内視鏡の可能性	ランチョンセミナー61 センチュリーメディカル(株) How to 大腸ステント留置術	セミナー設定なし		商業展示
中継会場	PD4(肝臓・消化器・消外) 肝再生研究の進歩 司会: 日野啓輔 森屋恭爾	IS-S6(消外・消化器) 消化器癌におけるロボット手術VS鏡視下手術 (Robotic surgery vs laparoscopic surgery for GI cancer in future) 司会: 渡邊昌彦(M. Watanabe) 宇山一朗(I. Uyama)	W20(消化器・内視鏡) 薬剤性消化管障害の現状と課題 司会: 上村直実 平石秀幸	W21(肝臓・消化器・消外) 肝癌治療の最前線 司会: 飯島尋子 持田 智	JDDW 2017 Hands on seminar3 (内視鏡) ESD コーディネーター: 後藤田卓志 藤城光弘 平松活志	デジタルポスターセッション(消化器病)	International Poster Session
						14:00~16:30	
サテライトシンポジウム92 大日本住友製薬(株) 癌幹細胞を標的とした消化器癌治療へのアプローチ	サテライトシンポジウム93 富士フイルムメディカル(株) ダブルバルーン内視鏡がもたらす新たな小腸内視鏡診療	サテライトシンポジウム94 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 知っておくべき解剖と最新の手術手技 側方郭清について	サテライトシンポジウム95 EAファーマ(株)・アツヴィ合同会社 抗TNF製剤と免疫調整剤併用の是非-日本発のDIAMONDスタディから見たもの	サテライトシンポジウム96 (株)ヤクルト本社 胃癌化学療法の実践-適切な治療選択と副作用マネジメント-			
						19:00-21:00 ホテルオークラ福岡にて JDDW 2017 合同評議員懇話会	

8:00
45
9:00
30
40
10:00
11:00
30
12:00
30
13:00
30
40
14:00
15:00
16:00
30
17:00
30
18:00
30
19:00
20:00

海報發表亦於 106 年 10 月 12 日開始展示，主題包括：消化道疾病、內視鏡、肝臟及消化道外科疾病相關內容，特別安排在超過 1000 坪的第 15 會場，錄取 2,778 篇海報發表及 742 篇專題報告，相關訊息如下：

<第15会場(マリンメッセ福岡 アリーナ)>

デジタルポスター日程表 10月12日(木):第1日目/PM

消化器病							
演題番号	消P-1~25	消P-26~48	消P-49~70	消P-71~95	消P-96~118	消P-119~143	消P-144~167
14:00	14:00~14:30 食道・咽頭 (検査・診断・良性疾患)	14:00~14:30 胃・十二指腸 (検査・診断)	14:00~14:38 胃・十二指腸 (<i>H.pylori</i>) 4	14:00~14:30 小腸 (炎症性腸疾患) 2	14:00~14:36 肝臓 (基礎)	14:00~14:24 胆道(検査・診断)	14:00~14:30 膵臓(基礎) 2
15:00	14:30~15:00 食道・咽頭 (食道炎・GERD)	14:30~15:06 胃・十二指腸 (<i>H.pylori</i>) 1	14:38~15:14 胃・十二指腸 (<i>H.pylori</i>) 5	14:30~15:06 大腸 (基礎) 1	14:36~15:18 肝臓 (検査・診断(画像)) 1	14:24~14:54 胆道 (内視鏡治療) 1	14:30~15:00 膵臓(検査・診断) 1
	15:00~15:36 食道・咽頭 (GERD)	15:06~15:44 胃・十二指腸 (<i>H.pylori</i>) 2	15:14~15:44 小腸(基礎/ 検査・診断)	15:06~15:42 大腸 (基礎) 2	15:18~15:54 肝臓 (検査・診断(画像)) 2	14:54~15:30 胆道 (内視鏡治療) 2	15:00~15:30 膵臓(検査・診断) 2
16:00	15:36~16:00 胃・十二指腸(基礎)	15:44~16:20 胃・十二指腸 (<i>H.pylori</i>) 3	15:44~16:14 小腸 (炎症性腸疾患) 1	15:42~16:06 大腸(検査・診断)	15:54~16:18 胆道(基礎/検査・診断)	15:30~16:06 胆道 (内視鏡治療) 3	15:30~15:54 膵臓(検査・診断) 3
	16:00~16:30 胃・十二指腸 (粘膜下腫瘍)			16:06~16:30 大腸(症例報告)		16:06~16:30 膵臓(基礎) 1	15:54~16:24 膵臓 (急性膵炎)
16:30							

内視鏡						
演題番号	内P-1~18	内P-19~39	内P-40~59	内P-60~76	内P-77~97	内P-98~118
14:00	14:00~14:36 食道・咽頭 (食道悪性腫瘍)	14:00~14:42 胃 (胃癌) 1	14:00~14:50 胃 (IEE)	14:00~14:35 十二指腸・ 非乳頭部 (ESD) 1	14:00~14:49 胆道 (診断) 1	14:00~14:49 膵臓 (EUS-FNA) 1
15:00	14:36~15:05 食道・咽頭 (拡大内視鏡)	14:42~15:18 胃 (胃癌) 2	14:50~15:39 胃 (胃癌) 3	14:35~15:10 十二指腸・ 非乳頭部 (ESD) 2	14:49~15:38 胆道 (診断) 2	14:49~15:38 膵臓 (EUS-FNA) 2
	15:05~15:33 食道・咽頭 (炎症性疾患/IEE)	15:18~15:53 胃 (ESD) 1	15:39~16:22 胃 (胃癌) 4	15:10~15:59 十二指腸・ 乳頭部 (ESD)	15:38~16:27 胆道 (診断) 3	15:38~16:27 膵臓 (悪性腫瘍/偶発症)
16:00	15:33~16:09 食道・咽頭 (拡張術/その他 の治療)	15:53~16:28 胃 (ESD) 2				
16:30						

肝臓							
演題番号	肝P-1~23	肝P-24~47	肝P-48~71	肝P-72~95	肝P-96~119	消P-120~143	肝P-144~168
14:00	14:00~14:32 C型肝炎 (治療) 1	14:00~14:32 C型肝炎 (治療) 3	14:00~14:38 C型肝炎 (治療) 6	14:00~14:38 C型肝炎 (治療) 9	14:00~14:38 原発性肝癌 (局所治療) 1	14:00~14:36 原発性肝癌 (診断) 1	14:00~14:24 原発性肝癌(発症)
15:00	14:32~15:08 C型肝炎 (治療) 2	14:32~15:08 C型肝炎 (治療) 4	14:38~15:02 C型肝炎(治療) 7	14:38~15:02 C型肝炎(治療) 10	14:38~15:20 原発性肝癌 (分子標的治療) 1	14:36~15:12 原発性肝癌 (診断) 2	14:24~14:54 原発性肝癌 (診断) 3
	15:08~15:46 C型肝炎 (治療後予後) 1	15:08~15:44 C型肝炎 (治療) 5	15:02~15:44 C型肝炎 (治療) 8	15:02~15:32 C型肝炎 (治療) 11	15:20~15:56 原発性肝癌 (分子標的治療) 2	15:12~15:48 原発性肝癌 (局所治療) 2	14:54~15:30 原発性肝癌 (局所治療) 4
16:00	15:46~16:22 C型肝炎 (治療後予後) 2	15:44~16:26 C型肝炎 (治療後予後) 3	15:44~16:26 C型肝炎 (治療後予後) 4	15:32~16:02 C型肝炎 (治療後予後) 5	16:02~16:26 急性肝炎	15:48~16:24 原発性肝癌 (局所治療) 3	15:30~15:54 原発性肝癌(局所治療) 5
							15:54~16:32 原発性肝癌 (分子標的治療) 3
16:30							

＜第15会場(マリンメッセ福岡 アリーナ)＞

デジタルポスター日程表 10月12日(木):第1日目/PM

消化器外科									
演題番号	外P-1~25	外P-26~50	外P-51~74	外P-75~97	外P-98~122	外P-123~147	内P-148~171	外P-172~194	外P-195~218
14:00	14:00~14:36 食道・咽頭 (診断)	14:00~14:30 胃 (画像診断(悪性))	14:00~14:48 胃 (手術治療(悪性)) 3	14:00~14:48 胃 (症例報告(悪性)) 1	14:00~14:42 大腸 (画像診断)	14:00~14:30 大腸 (周術期管理)2	14:00~14:24 胆道(診断)1	14:00~14:36 膵臓 (画像診断)	14:00~14:36 膵臓 (術後合併症)1
15:00	14:36~15:12 食道・咽頭 (手術治療(悪性))1	14:30~15:00 胃(悪性度診断/遺伝子 診断/臨床病理診断)	14:48~15:36 胃 (手術治療(悪性)) 4	14:48~15:36 胃 (症例報告(悪性)) 2	14:42~15:06 大腸(悪性度診断/遺伝子診断)	14:30~15:06 大腸 (診断(その他・悪性))	14:24~14:54 胆道(診断)2	14:36~15:00 膵臓(悪性度診断)	14:36~15:12 膵臓 (術後合併症)2
	15:12~15:48 食道・咽頭 (手術治療(悪性))2	15:00~15:24 胃(診断(その他・悪性))	15:24~16:00 胃 (手術治療(悪性))1	15:06~15:36 大腸 (臨床病理診断)1	15:06~15:48 大腸 (手術治療(良性))	14:54~15:18 胆道(手術治療(良性))	15:18~15:54 胆道 (鏡視下手術(良性))1	15:00~15:42 膵臓 (手術治療/鏡視 下手術(良性))	15:12~15:42 膵臓 (術後合併症)3
16:00	15:48~16:30 食道・咽頭 (手術治療(悪性))3	16:00~16:30 胃 (手術治療(悪性))2	15:36~16:24 胃 (手術治療(悪性)) 5	15:36~16:18 胃 (症例報告(悪性)) 3	15:36~16:06 大腸 (臨床病理診断)2	15:48~16:30 大腸 (手術治療 (悪性))1	15:54~16:24 胆道 (鏡視下手術(良性))2	15:42~16:18 膵臓 (周術期管理)	15:42~16:24 膵臓 (その他)
16:30									

がん検診 AM	
演題番号 検P-1~11	
9:30	9:30~10:02 大腸 1
10:00	10:02~10:34 大腸 2
	10:34~10:58 大腸 3・その他
11:00	

がん検診 PM	
演題番号 検P-12~20	
14:30	14:30~15:02 上部消化管 1
15:00	15:02~15:42 上部消化管 2
16:00	

10月13日(金):第2日目/AM

International Poster Session		
演題番号 IP-1_S~12_E	IP-13_G~27_E	IP-28_S~42_E
9:30	9:30~10:02 Esophagus I	9:30~10:10 Small and large intestine
10:00	10:02~10:34 Esophagus II	10:10~10:58 IBD and others
	10:26~10:58 Upper-GI bleeding	
10:34~11:06 Esophagus III	10:26~10:58 Upper-GI disorders	
11:00	10:58~11:30 GI endoscopy	10:58~11:30 Large intestine: ESD
11:30		

10月13日(金):第2日目/PM

International Poster Session		
演題番号 IP-43_S~61_S	IP-62_G~80_G	IP-81_S~98_E
14:00	14:00~14:32 Gastric cancer: Surgery	14:00~14:48 Pancreas: Chemotherapy and others
	14:00~14:48 Liver I	
15:00	14:32~15:12 Large intestine: Surgery	14:48~15:36 Pancreatobiliary I
	14:48~15:44 Liver II	
16:00	15:12~15:52 Large intestine: Surgery and chemotherapy	15:36~16:24 Pancreatobiliary II
	15:44~16:32 Pancreas: Chemotherapy	
16:30	15:52~16:32 Pancreas: Surgery	

＜第15会場(マリンメッセ福岡 アリーナ)＞

デジタルポスター日程表 10月13日(金):第2日目/AM

消化器病								
演題番号	消P-168~187	消P-188~207	消P-208~225	消P-226~244	消P-245~263	消P-264~280	消P-281~297	消P-298~316
9:30	9:30~9:54 食道・咽頭 (内視鏡治療)	9:30~10:02 胃・十二指腸(良性疾患(炎症・潰瘍・ポリープ・血管病変など))1	9:30~9:56 胃・十二指腸(腫瘍・癌(その他の悪性腫瘍を含む))1	9:30~10:00 胃・十二指腸 (内視鏡治療)2	9:30~9:54 肝臓 (NASH/NAFLD)2	9:30~10:00 膵臓 (慢性膵炎(AIP以外))	9:30~10:06 膵臓 (膵嚢胞性腫瘍)1	9:30~10:06 膵臓 (膵嚢胞性腫瘍)4
10:00	9:54~10:24 食道・咽頭 (悪性腫瘍)1	10:02~10:32 胃・十二指腸(良性疾患(炎症・潰瘍・ポリープ・血管病変など))2	9:56~10:20 胃・十二指腸(腫瘍・癌(その他の悪性腫瘍を含む))2	10:00~10:24 胃・十二指腸 (内視鏡治療)3	9:54~10:24 胆道(良性疾患(機能性疾患を含む))1	10:00~10:38 膵臓 (自己免疫性膵炎)1	10:06~10:36 膵臓 (膵嚢胞性腫瘍)2	10:06~10:36 膵臓 (内視鏡治療/手術)
	10:24~10:54 食道・咽頭 (悪性腫瘍)2	10:32~11:02 胃・十二指腸(機能性疾患(FDなど)/リンパ腫)	10:20~10:50 胃・十二指腸(腫瘍・癌(その他の悪性腫瘍を含む))3	10:24~11:00 肝臓(B型肝炎/他のウイルス性肝炎)	10:24~10:54 胆道(良性疾患(機能性疾患を含む))2	10:38~11:18 膵臓 (自己免疫性膵炎)2	10:36~11:12 膵臓 (膵嚢胞性腫瘍)3	10:36~10:54 膵臓(その他の悪性腫瘍(内分泌腫瘍など))
11:00	10:54~11:32 食道・咽頭 (手術/症例報告/その他)	11:02~11:32 胃・十二指腸 (手術)	10:50~11:22 胃・十二指腸 (内視鏡治療)1	11:00~11:24 肝臓 (NASH/NAFLD)1	10:54~11:24 胆道 (手術)			10:54~11:24 膵臓 (その他)
11:30								

内視鏡					消化器外科					
演題番号	内P-119~134	内P-135~149	内P-150~161	内P-162~178	内P-179~194	内P-195~208	演題番号	外P-219~238	外P-239~257	外P-258~277
9:30	9:30~10:14 胃 (H.pylori)	9:30~10:07 十二指腸・非乳頭部 (上皮性腫瘍)	9:30~10:06 小腸 (診断)	9:30~10:13 大腸 (消化管出血)1	9:30~10:06 食道・咽頭 (ESD)1	9:30~10:20 胆道 (胆道関連手技)1	9:30~10:00 食道・咽頭 (手術治療(悪性))4	9:30~10:12 食道・咽頭 (鏡視下手術(悪性))2	9:30~9:54 胃(補助化学療法)	9:30~9:54 胃(補助化学療法)
10:00	10:14~10:49 胃 (消化管出血)1	10:07~10:42 十二指腸・非乳頭部(上皮性腫瘍/潰瘍)	10:06~10:55 小腸 (治療)	10:13~10:55 大腸 (消化管出血)2	10:06~10:41 食道・咽頭 (ESD)2	10:20~11:10 胆道 (胆道関連手技)2	10:00~10:30 食道・咽頭(手術治療(良性)/鏡視下手術(良性))	10:12~10:48 食道・咽頭 (鏡視下手術(悪性))3	9:54~10:24 胃(化学療法・免疫療法)	9:54~10:24 胃(化学療法・免疫療法)
11:00	10:49~11:24 胃 (消化管出血)2	10:42~11:17 十二指腸 (狭窄治療)		10:55~11:30 大腸 (消化管出血)3	10:41~11:23 胆道 (偶発症・リスクマネジメント)1		10:30~10:54 食道・咽頭 (鏡視下手術(良性))	10:48~11:24 食道・咽頭 (補助化学療法)	10:24~11:00 胃 (代謝・栄養)1	10:24~11:00 胃 (代謝・栄養)1
11:30							10:54~11:30 食道・咽頭 (鏡視下手術(悪性))1		11:00~11:30 胃 (代謝・栄養)2	11:00~11:30 胃 (代謝・栄養)2

消化器外科								
演題番号	外P-278~297	外P-298~317	外P-318~337	外P-338~356	外P-357~375	外-376~394	外P-395~413	外-414~431
9:30	9:30~10:12 胃 (集学的治療)1	9:30~10:18 肝臓 (診断)	9:30~10:12 肝臓 (手術治療(悪性))3	9:30~10:00 肝臓 (手術治療(悪性))6	9:30~10:00 肝臓 (鏡視下手術(悪性))3	9:30~10:12 膵臓 (手術治療(悪性))1	9:30~10:12 膵臓 (手術治療(悪性))4	9:30~10:00 膵臓 (集学的治療)2
10:00	10:12~11:00 胃 (集学的治療)2	10:18~10:54 肝臓 (手術治療(悪性))1	10:12~10:54 肝臓 (手術治療(悪性))4	10:00~10:42 肝臓 (鏡視下手術(悪性))1	10:00~10:30 肝臓 (集学的治療/補助化学療法/治療その他)	10:12~10:48 膵臓 (手術治療(悪性))2	10:12~10:48 膵臓 (手術治療(悪性)/診断(その他・悪性))	10:00~10:30 膵臓 (集学的治療)3
11:00	11:00~11:30 胃(治療(その他・放射線を含む))	10:54~11:30 肝臓 (手術治療(悪性))2	10:54~11:30 肝臓 (手術治療(悪性))5	10:42~11:24 肝臓 (鏡視下手術(悪性))2	10:30~11:00 肝臓(悪性腫瘍(再発・転移))1	10:48~11:24 膵臓 (手術治療(悪性))3	10:48~11:24 膵臓 (集学的治療)1	10:30~11:18 膵臓 (悪性腫瘍(再発・転移))
11:30					11:00~11:24 肝臓(悪性腫瘍(再発・転移))2			

<第15会場(マリンメッセ福岡 アリーナ)>

デジタルポスター日程表 10月13日(金):第2日目/AM

消化器病								
演題番号	消P-317~338	消P-339~362	消P-363~386	消P-387~411	消P-412~435	消P-436~459	消P-460~482	消P-483~504
14:00	14:00~14:30 小腸(良性疾患(機能性疾患含む)/治療/その他)	14:00~14:24 大腸(クローン病)3	14:00~14:36 大腸 (潰瘍性大腸炎)4	14:00~14:36 大腸 (潰瘍性大腸炎)8	14:00~14:48 大腸(良性疾患(炎症・潰瘍・憩室・血管病変など))3	14:00~14:30 大腸(癌(その他の悪性腫瘍含む))3	14:00~14:36 肝臓 (門脈圧亢進症)	14:00~14:36 胆道
15:00	14:30~14:48 小腸(腫瘍)	14:24~15:04 大腸 (潰瘍性大腸炎)1	14:36~15:12 大腸 (潰瘍性大腸炎)5	14:36~15:12 大腸 (潰瘍性大腸炎)9	14:48~15:12 大腸(癌以外の腫瘍性疾患(ポリープなど))	14:30~15:12 大腸 (内視鏡治療)1	14:36~15:12 肝臓 (肝不全)	14:36~15:12 脾臓 (その他の治療(化学療法、放射線治療などを含む))1
	14:48~15:12 大腸(機能性疾患(IBSなど))	15:04~15:46 大腸 (潰瘍性大腸炎)2	15:12~15:48 大腸 (潰瘍性大腸炎)6	15:12~15:54 大腸(良性疾患(炎症・潰瘍・憩室・血管病変など))1	15:12~15:48 大腸(癌(その他の悪性腫瘍含む))1	15:12~15:48 大腸 (内視鏡治療)2	15:12~15:48 肝臓 (治療)1	15:12~15:48 脾臓 (その他の治療(化学療法、放射線治療などを含む))2
16:00	15:42~16:12 大腸 (クローン病)2	15:46~16:28 大腸 (潰瘍性大腸炎)3	15:48~16:24 大腸 (潰瘍性大腸炎)7	15:54~16:30 大腸(良性疾患(炎症・潰瘍・憩室・血管病変など))2	15:48~16:28 大腸(癌(その他の悪性腫瘍含む))2	15:48~16:26 大腸 (内視鏡治療/手術)	15:48~16:18 肝臓 (治療)2	15:48~16:12 その他(緩和医療)
16:30								

デジタルポスター日程表 10月13日(金):第2日目/PM

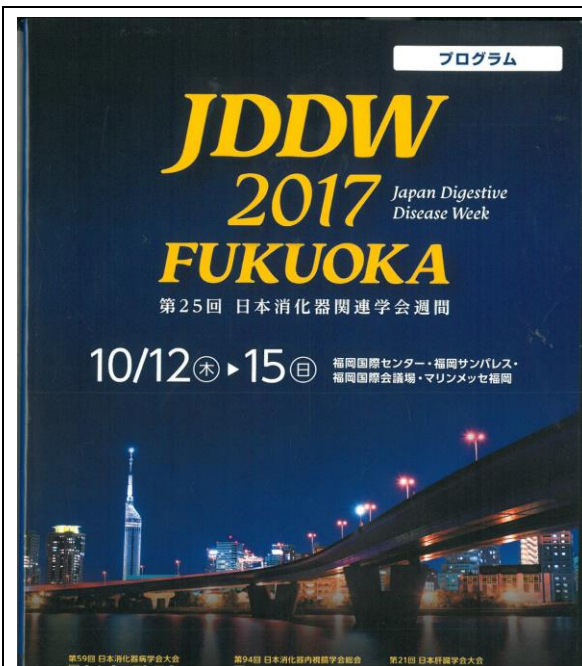
内視鏡					肝臓					
演題番号	内P-209~226	内P-227~243	内P-244~264	内P-265~284	内P-285~304	演題番号	肝P-169~192	肝P-193~213	肝P-214~238	肝P-239~261
14:00	14:00~14:35 大腸 (大腸癌)	14:00~14:49 大腸 (炎症性腸疾患)	14:00~14:49 脾臓 (診断)	14:00~14:49 胆道 (胆石)1	14:00~14:50 胆道 (胆道関連 手技)3	14:00~14:18 B型肝炎(病態・診断)	14:00~14:18 B型肝炎(病態・診断)	14:00~14:38 C型肝炎 (治療)12	14:00~14:30 B型肝炎 (治療)2	14:00~14:34 NAFLD・ NASH 1
15:00	14:35~15:24 大腸 (IEE/拡大 内視鏡)	14:49~15:18 大腸(感染性腸炎/その他の腸炎)	14:49~15:38 脾臓 (脾臓関連手技)	14:49~15:38 胆道 (胆石)2	14:50~15:33 胆道 (胆道関連 手技)4	14:18~15:00 B型肝炎 (治療)1	14:38~15:08 C型肝炎 (治療)13	14:30~15:12 肝硬変・ 肝線維化1	14:34~15:08 NAFLD・ NASH 2	
	15:24~16:06 大腸 (スクリーニング・ 検診)	15:18~16:01 大腸 (その他の腫瘍)	15:38~16:27 胆道 (偶発症・ リスクマネー ジメント)2	15:38~16:20 胆道 (胆石)3	15:33~16:22 胆道 (胆道関連 手技)5	15:00~15:42 B型肝炎 (再活性化)1	15:08~15:38 C型肝炎 (その他)1	15:12~15:54 肝硬変・ 肝線維化2	15:08~15:52 NAFLD・ NASH 3	
16:00						15:42~16:24 B型肝炎 (再活性化)2	15:38~16:08 C型肝炎 (その他)2	15:54~16:30 肝不全・ 栄養療法・ 代替療法1	15:52~16:28 NAFLD・ NASH 4	
16:30										

肝臓			消化器外科							
演題番号	肝P-262~284	肝P-285~309	肝P-310~333	演題番号	外P-432~454	外P-455~479	外P-480~504	外P-505~527	外P-528~551	外P-552~574
14:00	14:00~14:42 原発性肝癌 (局所治療)6	14:00~14:42 肝硬変・ 肝線維化3	14:00~14:44 肝硬変・ 肝線維化5	14:00~14:42 十二指腸 (手術治療)	14:00~14:30 小腸 (手術治療)	14:00~14:30 小腸 (手術治療)	14:00~14:42 大腸 (手術治療 (悪性))2	14:00~14:48 大腸 (手術治療 (悪性))6	14:00~14:30 大腸(鏡視下手術(良性))1	14:00~14:48 大腸 (鏡視下手術 (悪性))3
15:00	14:42~15:14 原発性肝癌 (局所治療)7	14:42~15:18 肝硬変・ 肝線維化4	14:44~15:22 肝循環・門脈 圧亢進症2	14:42~15:12 十二指腸 (鏡視下手術)	14:30~15:18 小腸 (鏡視下手術)	14:42~15:18 小腸 (鏡視下手術)	14:42~15:18 大腸 (手術治療 (悪性))3	14:48~15:36 大腸 (手術治療 (悪性))7	14:30~14:54 大腸(鏡視下手術(良性))2	14:48~15:36 大腸 (鏡視下手術 (悪性))4
	15:14~15:54 NAFLD・ NASH 5	15:18~15:54 肝循環・門脈 圧亢進症1	15:22~15:58 自己免疫性 肝疾患	15:12~15:42 十二指腸 (症例報告(悪性))	15:18~15:54 小腸 (炎症性疾患)	15:18~15:54 大腸 (手術治療 (悪性))4	15:18~15:54 大腸 (手術治療 (悪性))4	15:36~16:18 大腸 (手術治療 (悪性))8	14:54~15:36 大腸 (鏡視下手術 (悪性))1	15:36~16:18 大腸 (鏡視下手術 (悪性))5
16:00	15:54~16:24 NAFLD・ NASH 6	15:54~16:30 肝不全・栄養療法・ 代替療法2	15:58~16:28 その他の肝腫瘍・ 肝占拠性病変	15:42~16:18 十二指腸 (その他)	15:54~16:30 小腸 (診断/SSI/ その他)	15:54~16:30 小腸 (手術治療 (悪性))5	15:54~16:30 大腸 (手術治療 (悪性))5	15:36~16:24 大腸 (手術治療 (悪性))8	15:36~16:24 大腸 (鏡視下手術 (悪性))2	15:36~16:18 大腸 (鏡視下手術 (悪性))5
16:30										

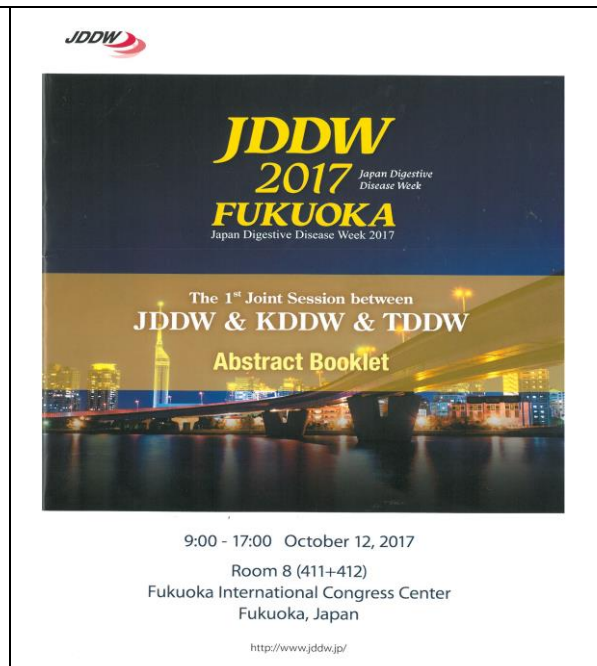
此次日本消化系週(JDDW)研討會更首次聯合韓國消化系週(Korea Digestive Disease Week, KDDW)及台灣消化系週(Taiwan Digestive Disease Week, TDDW)共同參與討論之主題包括：胃癌相關處置、大腸直腸癌之治療、肝癌最新的治療策略、IPMN的處理經驗及亞洲腸胃腸道疾病之進展，研討會議程如下：

The 1st Joint Session between JDDW & KDDW & TDDW			
JDDW	JKT1 Upper G.I. Current management of gastric cancer in Asia 12th 9:00-10:00 Room8	JDDW	JKT4 Biliary, Pancreas Management of IPMN - Asian experience - 12th 14:00-15:00 Room8
Chairperson	N. Uemura Kohnodai Hospital, National Center for Global Health and Medicine Y. C. Lee Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine Yonsei University College of Medicine M.-T. Lin Department of Surgery, National Taiwan University Hospital	Chairperson	M. Tanaka Shimonoseki City Hospital Y.-T. Kim Department of Internal Medicine, Seoul National University College of Medicine C.-L. Lee Department of Internal Medicine, Cathay General Hospital
	Session Detail		Session Detail
JDDW	JKT2 Lower G.I. Therapeutic management of colorectal T1 (SM) carcinoma 12th 10:00-11:00 Room8	JDDW	JKT5 Rising Star Program 1 Evolution of gastroenterology in Asia: Current status and future prospects 12th 15:00-16:00 Room8
Chairperson	S. Tanaka Endoscopy and Medicine, Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima University Y. T. Jeon Department of Internal Medicine, Korea University College of Medicine, Korea University Anam Hospital C.-C. Chen Department of Surgery, Koo Foundation Sun Yat-Sen Cancer Center	Chairperson	K. Sugano President, Organization of JDDW B.-H. Kim Division of Gastroenterology and Hepatology, Kyung Hee University Medical Center H.-P. Wang Department of Internal Medicine, National Taiwan University College of Medicine
	Session Detail		Session Detail
JDDW	JKT3 Liver HCC: New treatment strategy in Asia 12th 11:00-12:00 Room8	JDDW	JKT6 Rising Star Program 2 Evolution of gastroenterology in Asia: Current status and future prospects 12th 16:00-17:00 Room8
Chairperson	M. Kudo Department of Gastroenterology and Hepatology, Kindai University Faculty of Medicine S.-H. Um Department of Internal Medicine, Korea University College of Medicine, Korea University Anam Hospital J.-H. Kao Graduate Institute of Clinical Medicine, National Taiwan University College of Medicine	Chairperson	K. Okazaki Department of Gastroenterology and Hepatology, Kansai Medical University S. W. Lee Department of Internal Medicine, Korea University College of Medicine, Korea University Ansan Hospital C.-T. Chiu Department of Internal Medicine, Chang Gung University College of Medicine
	Session Detail		Session Detail

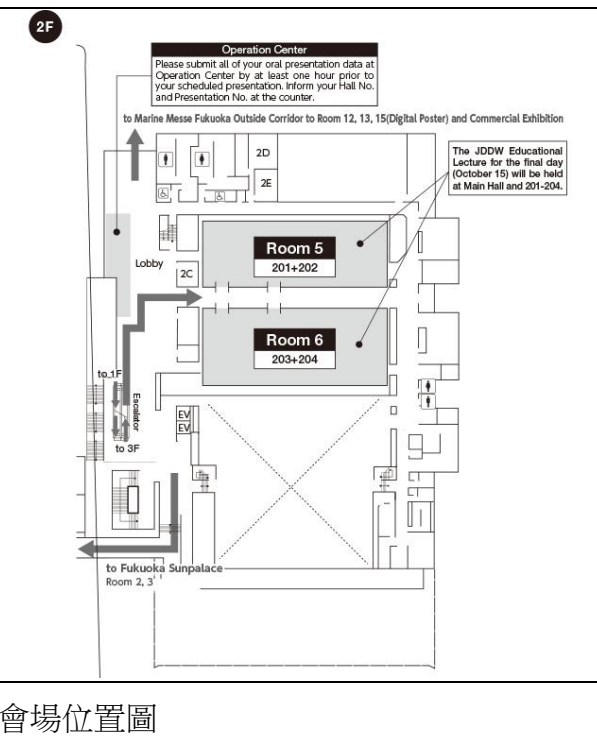
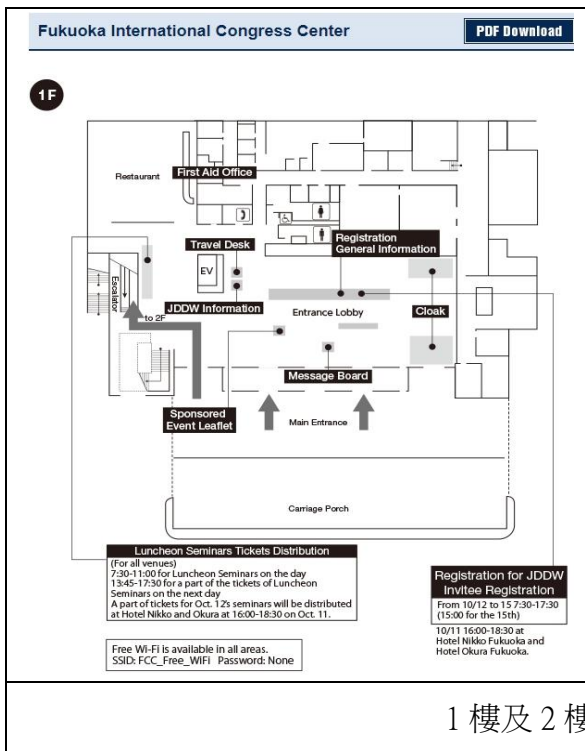
會場中並設有各類新式內視鏡及周邊設備、C型肝炎、肝癌等參展攤位，除設備外亦有各相關疾病治療新趨勢之介紹，提供與會人員參觀，以瞭解各疾病檢查及治療的發展新知。



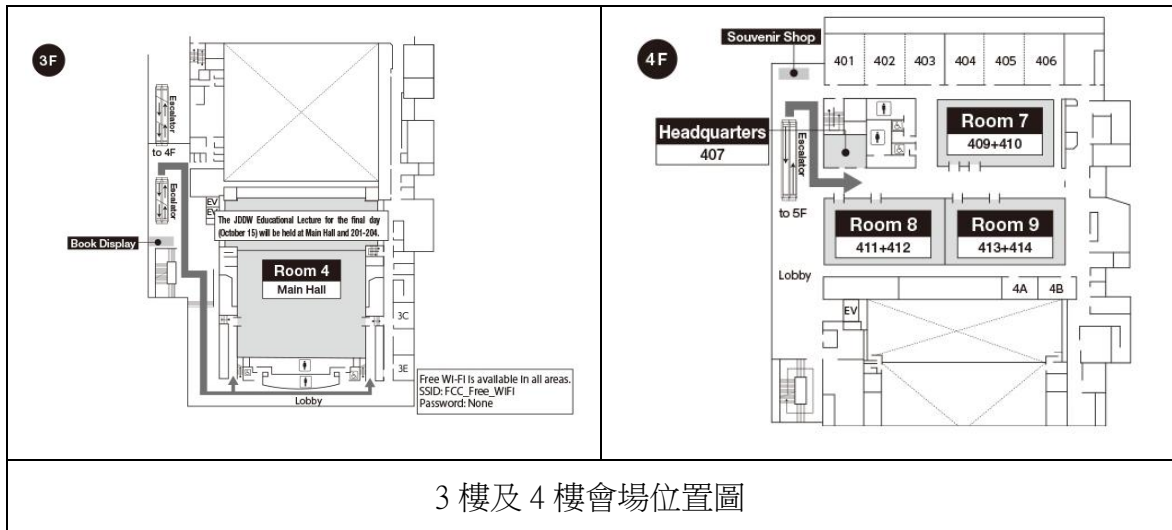
JDDW 大會手冊



日本、韓國及台灣 joint meeting 摘要



1 樓及 2 樓會場位置圖



<p>No. 102605 JDDW2017 FUKUOKA 第25回日本消化器関連学会週間</p> <p>所属: TAIWAN TAINAN 氏名: BOR-SHYANG SHEU</p> <p>参加証明書 日本消化器関連学会週間に参加されたことを証明致します。 2017年10月12日・13日・14日・15日 JDDW 2017 運営委員会</p> <p>第59回 日本消化器病学会大会 会長 杉山 政則 第94回 日本消化器内視鏡学会総会 会長 伊藤 透 第21回 日本肝臓学会大会 会長 田中 榮司 第15回 日本消化器外科学会大会 会長 吉田 和弘 第55回 日本消化器がん検診学会大会 会長 岡 政志</p> <p>ランチョンセミナー 発券番号 102605hp</p>	<p>No. 102603 JDDW2017 FUKUOKA 第25回日本消化器関連学会週間</p> <p>所属: Tainan Hospital 氏名: SU SHUFEN</p> <p>参加証明書 日本消化器関連学会週間に参加されたことを証明致します。 2017年10月12日・13日・14日・15日 JDDW 2017 運営委員会</p> <p>第59回 日本消化器病学会大会 会長 杉山 政則 第94回 日本消化器内視鏡学会総会 会長 伊藤 透 第21回 日本肝臓学会大会 会長 田中 榮司 第15回 日本消化器外科学会大会 会長 吉田 和弘 第55回 日本消化器がん検診学会大会 会長 岡 政志</p> <p>ランチョンセミナー 発券番号 102603hw</p>	<p>No. 102604 JDDW2017 FUKUOKA 第25回日本消化器関連学会週間</p> <p>所属: Tainan Hospital 氏名: CHEN TZUCHUN</p> <p>参加証明書 日本消化器関連学会週間に参加されたことを証明致します。 2017年10月12日・13日・14日・15日 JDDW 2017 運営委員会</p> <p>第59回 日本消化器病学会大会 会長 杉山 政則 第94回 日本消化器内視鏡学会総会 会長 伊藤 透 第21回 日本肝臓学会大会 会長 田中 榮司 第15回 日本消化器外科学会大会 会長 吉田 和弘 第55回 日本消化器がん検診学会大会 会長 岡 政志</p> <p>ランチョンセミナー 発券番号 102604hs</p>
<p>参加証明-許博翔院長</p>	<p>参加証明-蘇淑芬秘書</p>	<p>参加証明-陳姿君主任</p>

肆、參加研討會心得

參與此次 2017 年日本消化系國際研討會是具規模之國際會議，無論是硬體或是軟體上的設施都充分地展現主辦單位的用心，在講座領域的安排，也適當的分配上、下消化道內視鏡、腫瘤、肝炎治療等議題，適時滿足消化系內外科領域之需求。參與過程心得分述如下：

一、胃癌之相關探討

胃癌在亞洲特別是韓國，日本和中國是非常常見的癌症，在該研討會中針對幽門桿

菌及胃癌特別演講提及，最近的研究發現，幽門桿菌與胃癌之間的關聯可能被低估，若能在胃癌發生的最早階段給予治療，幽門桿菌根除就具有最大的預防作用。在過去，腫瘤根據其原始組織進行分類，並在此基礎上開發了治療。最近的基因組研究顯示，單一類型的組織的腫瘤可以根據其遺傳特徵進行分類。例如，在結腸直腸腫瘤中有一些在 KRAS，BRAF，PI3 激酶中有突變，一些在 ERBB2 中具有拷貝數變化，而其他具有 DNA 錯配修復基因的突變。第二個特徵是在不同的腫瘤類型中可以發現相同的遺傳變化。例如，在黑色素瘤、肺、結腸直腸和許多其他腫瘤類型中觀察到 BRAF V600 突變。

二、針對胃癌篩檢策略

在台灣基於胃癌的多致癌因素和自然病史，確定胃癌預防的三個策略，首先是強調風險評估和避免風險因子暴露的一級預防。除遺傳因素外，生活方式如飲食、抽煙，幽門桿菌是可改變的因素，屬於二級預防：包括兩個重要措施，篩檢一般人群及高風險組病變監測；三級預防則是早期診斷、預防性治療。從預防和成本效益的角度來說，一級和二級預防明顯優於三級預防，因此，在台灣以社區為基礎的幽門桿菌篩檢，及早期幽門桿菌的根除，對於胃癌的發現是具有成本效益的。

在韓國每年大約有 30,000 例胃癌個案，於 2014 年調查男性約有 17.8% 發生率，女性則有 9.4% 發生率，韓國政府於 1999 年成立國際癌症篩檢計畫(NCSP)，提供 40-65 歲民眾每 2 年一次胃鏡或上消化道攝影篩檢，統計發現由於內視鏡檢查，早期胃癌的比例急劇增加，其中超過 25% 可以內視鏡切除術進行治療，大大減少胃癌的死亡率近 50%(OR=.53)。目前則對高風險群體和一般人群進行隨機對照試驗，以證明幽門桿菌根除的胃癌預防措施，進而修正胃癌的預防策略。

而日本學者的報告則提出，近年來幽門桿菌和胃癌之間的關聯已明確被證實，2013 年針對日本的幽門桿菌感染診斷和治療指南進行了全面的修正，所有幽門螺旋桿菌感染患者均獲得健康保險，可以接受組合式治療以根除幽門桿菌，並透過內視鏡檢查來評估胃癌的風險，但在幽門桿菌根除前後胃癌發生率比較，目前尚未有進一步評估資料。

綜上，韓國及日本皆由健康保險提供以內視鏡進行定期篩檢幽門桿菌，並監控高危險群，在台灣目前則無全面推行，僅由學者以研究計畫性質推展部分社區，或是病人出

現症狀時至醫院就診檢查後發現，依據衛生福利部 105 年 10 大死因統計惡性腫瘤(癌症)高居第一位，其中胃癌位於第 7 位，其死亡率不容忽視，應進一步思考如何發展篩檢政策。

三、大腸癌症篩檢策略

大腸癌在台灣為發生人數最多的癌症，且呈現快速增加的趨勢，每年約有 1 萬多人得到大腸癌，並有超過 5 千人因大腸癌死亡。根據統計，早期的大腸癌如果妥善治療，存活率高達 90% 以上。篩檢政策依據歐美國家經驗，每一至二年進行 1 次糞便潛血篩檢約可下降 18% 至 33% 的大腸癌死亡率。在研討會特別邀請佛羅倫斯大學 L. Bandettini 教授分享結腸直腸癌篩檢經驗，假使個案經由糞便潛血試驗出現陽性反應，就應該執行完整的結腸鏡檢查。在台灣，由於大腸癌多發生在 50 歲之後，因此，國民健康署補助 50-74 歲民眾每 2 年 1 次定量免疫法糞便潛血檢查，如果糞便潛血檢查呈陽性時，則建議進一步接受大腸鏡檢查。

四、C 型肝炎治療之進展

病毒感染是肝功能代償性肝損害的主要原因，據報導，亞洲地區有 49.64 億人感染 HCV。在藥物治療，干擾素合併雷巴威林(Ribavirin)治療已證實較單一使用干擾素效果更佳，但治癒率僅七成。在使用合併治療時，血球數、甲狀腺功能或肝功能也可能發生改變。這些個案都需要長時間治療。本次研討會中，亦有介紹日本 C 型肝炎治療之趨勢，及近來發展之全口服抗 C 肝病毒藥物 (DAAs, Direct Acting Antiviral agents)，C 肝患者若病毒基因未變異，服用新藥的治癒率將達九成九，較傳統藥物的七成高，療程也縮短至 12-24 週。在台灣，健保署於今年度亦開放了 C 型肝炎患者接受全口服藥的給付，可發現日本在藥物申請、費用給付、用藥衛教等均有設計完善之配套措施，值得我們借鏡。

在消化系統其他癌症如食道癌、胰臟癌，台灣此次亦有多位年輕學者參與發表，如早期食道癌的內視鏡治療，但目前尚缺乏可早期偵測之工具，亦是未來可在著墨發展之處。

本院已於 120 周年院慶時完成改善綜合檢查區之空間，包括內視鏡室及腹部超音波室等，除了增加排檢量能、縮短排檢時間，還希望增加醫療品質。日本對於消化道疾病

之診斷和治療已名列世界前端，參與此次消化系國際研討會吸收有關基礎臨床研究和醫療層面中之最新知識、發現及應用，對於本院積極推動之大腸直腸癌篩檢、大腸直腸癌治療團隊建立及肝炎藥物治療等推展有莫大助益。

伍、建議事項

參與本次國際研討會，適逢本院完成綜合檢查區之空間改善，包括內視鏡室及腹部超音波室等，及健保署開放 C 肝全口服抗病毒藥劑(DAAs)給付，正需積極進行業務推展之際，恰可向國際經驗借鏡，瞭解目前治療趨勢及模式，建議事項如下：

一、以公衛的角度來看，胃癌的預防勝於治療，可適時與其他醫療照護議題相結合推展幽門桿菌之篩檢，在韓國每 10 萬人口中有 60 人罹患胃癌，針對 40 歲以上民眾每 2 年提供一次內視鏡檢查，以早期發現罹癌高風險族群；在台灣每 10 萬人口中有 23 人罹患胃癌，但考量胃癌仍是我國 105 年 10 大癌症中第 7 名，建議可針對 40 歲以上民眾提供一次內視鏡檢查，找出胃癌高風險族群。

二、根據日本經驗以京都分類評估胃癌高、低風險族群，在台灣的研究中可發現 20-50 歲之民眾可能存在癌前病變高風險族群(CGI、腸黏膜化生)，建議該類病人可進行例行性內視鏡追蹤檢查，以早期治療，避免病情惡化，當然根除幽門桿菌降低胃癌的發生，亦是必須的積極治療。另外，針對細胞基因研究例如 m-RNA 等也是未來研究之方向。

三、在台灣 50 歲-75 歲民眾接受糞便潛血檢查篩檢大腸癌行之多年，針對糞便潛血檢查陽性個案，轉介醫療院所進行大腸鏡檢查，發現息肉者進行切除，降低大腸癌發生機率，同時也可發現早期大腸癌(T1 colon cancer)病人，以內視鏡進行局部手術。依據日本、韓國近 10 年經驗分析，以內視鏡進行手術及接受傳統外科手術者，成功率及復發率相近，惟一旦復發，內視鏡手術者預後則較差。因此，針對 T1 colon cancer 病人，考量何種需以外科手術方式或以內視鏡進行局部切除，值得我們多加考量。

四、在亞洲目前肝癌的治療趨勢，以燒灼(RFA)方式或外科手術進行比較，5 年存活率達 60%，10 年存活率達 27.3%，若一旦腫瘤侵犯血管預後則會降低，此時標靶藥物的選擇則是另一重點。

五、目前台灣針對 B、C 肝個案均有提供抗病毒藥物治療，本年度健保署更開放 C 肝全

口服抗病毒藥劑(DAAs)用藥給付，針對肝硬化個案提供申請，但對於肝癌術後個案尚未開放，建議亦可一併考量，並建立完善個案管理及標準作業流程。

六、在研討會各專家學者的報告中可發現，「肥胖」是腸胃道癌症的高危險因子，因此體重控制及代謝症候群控制亦是值得我們關注的重要議題。

七、醫療治療技術及相關發展日新月異，參與國際型研討會議，可以最快直接瞭解新的科技與技術，吸收他國寶貴的經驗，此次國際研討會可發現主辦單位在報到動線設計上相當有效率，以各種註冊費用支付方式分流報到人潮，且在會場及展場動線規劃上適時疏導避免擁塞，值得作為我們後續辦理相關活動時參考。

陸、附錄-研討會相關照片：



參加人員會場外合影

JDDW 2017 Fukuoka サテライトシンポジウム 78

レーザーが切り拓く 内視鏡診断・治療の最前線

日時 2017年 10月12日(木) 17:30~19:30
場所 第4会場 (福岡国際会議場 メインホール)
司会 加藤 元嗣 先生 国立国際医療研究センター
田中 信治 先生 広島大学大学院・医薬保健科学研究科・内視鏡医学
演者 八木 信明 先生 朝日大村上記念病院・消化器内科
小野 尚子 先生 北海道大病院・光学医療診療部
六車 直樹 先生 徳島大学大学院・消化器内科学
特別講演Ⅰ 久松 理一 先生 杏林大・3内科
特別講演Ⅱ 片岡 洋望 先生 名古屋南大消化器科

共催 第24回日本消化器内視鏡学会 会長 伊藤 直 (金沢大学大学院内視鏡学) FUJIFILM 富士フイルムメディカル株式会社



與會人員參加專題演講



與會人員參加日本、韓國及台灣 joint meeting

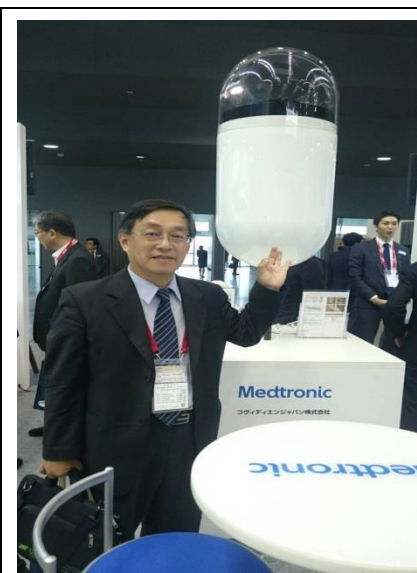


與會人員參加 JDDW 展場各項活動

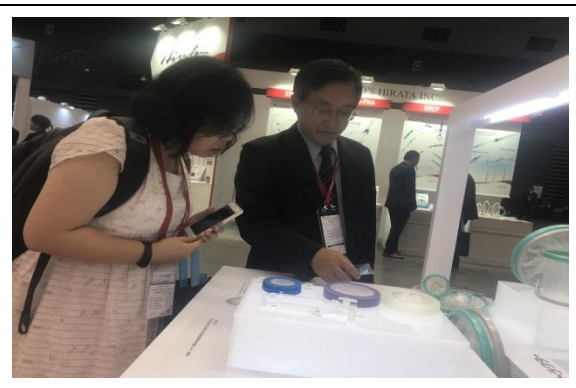
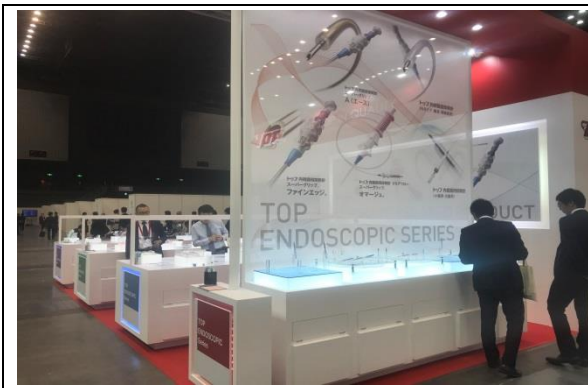


許博翔院長解說腸胃內視鏡偵測早期癌症 Narrow band image (NBI) 10 年演進

參觀放大型大腸鏡偵測早期大腸癌展示



參觀新型膠囊內視鏡、經鼻內視鏡及周邊設備



展場中介绍各式新型内视镜周边设备



展場由机器人介绍摊位特色



C 型肝炎新型治療薬品介绍



参観肝臓治療儀器及用藥

C型肝炎・C型代償性肝硬変に対する医療費助成制度があります

C型肝炎の治療は非常に高額であるため、患者さんの医療費負担を軽減するために国と都道府県が行っている給付的な助成制度です。

助成の対象となる患者さん

C型肝炎・C型代償性肝硬変で、インターフェロンフリー治療（飲み薬）を受ける患者さんのうち、都道府県による審査を経て認定された方が対象となります。

助成の対象となる医療の範囲

- インターフェロンフリー治療にかかる初診料、再診料、検査料、入院料、薬剤料で保険適応となっているもの
- インターフェロンフリー治療による副作用の治療で保険適応となっているもの（ただし治療を中断して行う副作用の治療については対象外）

自己負担の上限額

この制度の対象である認定されれば、自己負担の上限額は原則1ヵ月1万円（世帯所得の多い方は2万円）となります。

自己負担上限額（月額）*

世帯 [※] の市町村民税（所得割）課税年額 [※]	自己負担上限額（月額）
235,000円以上	20,000円
235,000円未満	10,000円

入国庁長官官舎、生活保護受給者世帯は別表適用
※1 世帯とは、世帯主と世帯員が世帯を構成する。また、同一世帯の世帯員が、世帯主として世帯を構成する。世帯員は、世帯主と同一世帯に世帯員として世帯を構成する。世帯員は、世帯主と同一世帯に世帯員として世帯を構成する。世帯員は、世帯主と同一世帯に世帯員として世帯を構成する。

詳しいことは、別冊子「医療費助成ガイド」でも紹介しています。不明な点がありましたら、病院のソーシャルワーカー、都道府県の窓口、お住まいの保健所などにお問い合わせください。



申請手続き

この制度を利用するためには、お住まいの地域にある保健所や保健福祉センターなどに、必要な書類をそろえて提出してください。提出後、都道府県の審査に通ると「肝炎治療給付証」(以下、「受給者証」と)と自己負担上限額通知書[※]が交付されます。
※本表は申請する際の参考として記載しています。

申請に必要なもの

提出書類	入手先
<input type="checkbox"/> 肝炎治療受給者証交付申請書	保健所など
<input type="checkbox"/> 医療費助成書	かかりつけ医など
<input type="checkbox"/> 患者さんが属する世帯世帯員について記載のある住民票の写し	お住まいの市町村
<input type="checkbox"/> 患者さんが属する世帯世帯員の市町村民税課税年額を証明する書類（世帯世帯員の課税証明書）	お住まいの市町村
<input type="checkbox"/> 健康保険証の写し	-

申請の流れ



申請から交付までには1〜3ヵ月程度かかります。治療計画を立てる際には、その点も考慮しておかれるとよいでしょう。

【受給者証】が交付されたら

【受給者証】と【自己負担上限額通知書】を、健康保険証とともに、医療機関の窓口にご提示ください。これにより、1ヵ月1万円（世帯所得の多い方は2万円）までの支払いで治療を受けられます。

医療費助成の回数

【インターフェロンフリー治療に対する医療費】の助成回数は、原則1回のみです。ただし、インターフェロンフリー治療があっても再び助成の対象となる場合もありますので、担当窓口にご相談ください。

医療費助成の期間

助成が受けられる期間は、各都道府県によって異なります。同じ都道府県でも、治療の内容によって、助成期間が異なることがあります。

この制度は国と都道府県が行っているため、申請時に必要な書類や申請窓口などは、各都道府県によって異なります。詳しくは、都道府県の医療費助成の担当窓口やお住まいの地域の保健所、または受診している医療機関にお問い合わせください。



日本 C 型肝炎用薬給付

日本 C 型肝炎用薬申請流程

マヴィレット[®]による治療を受けられる方へ

まず、マヴィレット[®] コールセンターにご登録ください。

マヴィレット[®]を処方された患者さん専用のコールセンターとして、治療情報の提供等、患者さんの治療継続をサポートします。ぜひ、ご登録ください。

医療費助成の申請をサポート
医療費助成の申請や医療費返還請求の手続きをお手伝いいたします。複雑な手続きの手順、疑問などにお応えします。

薬量の不安や心配の解消をサポート
薬量の不安や心配にお応えします。また、服薬継続に役立つ情報を提供させていただきます。

治療中の生活をサポート
C型肝炎の治療中の生活における疑問やお悩みにお応えします。

（ご登録はこちらまで）
お電話で ☎ **0120-171-630**
受付時間/年中無休 9:00~18:00（通話料無料）
子LINEが、患者さんの悩み、生活相談、質問、電話予約、通院先の医療機関紹介、お薬を飲み始める予定日等をお知らせします。
ファックスで 📠 **FAX 0120-006-604**
薬費が登録申込用紙になっています。必要事項をご記入の上、お送りください。

「マヴィレット[®]服薬サポートキット」のご紹介

マヴィレット[®]による治療をはじめの患者さんをサポートするための「マヴィレット[®]服薬サポートキット」をご用意しました。ぜひ、ご利用ください。

abbvie

C 肝用薬病人治療衛教手冊

受診時にご持参ください

マヴィレット[®]による治療を受ける患者さんへ

マヴィレット[®] 治療日誌

監修
国家公務員共済組合連合会虎の門病院 分院長
熊田 博光 先生

abbvie

C 肝用薬病人治療記録手冊

出國報告審核表

出國報告名稱：參加日本消化系週(JDDW)國際研討會				
出國人姓名 (2人以上，以1人為代表)	職稱	服務單位		
蘇淑芬	秘書	衛生福利部臺南醫院		
出國類別	<input type="checkbox"/> 考察 <input type="checkbox"/> 進修 <input type="checkbox"/> 研究 <input type="checkbox"/> 實習 <input checked="" type="checkbox"/> 其他 <u>參加國際研討會</u> (例如國際會議、國際比賽、業務接洽等)			
出國期間： 106年10月11日至106年10月14日		報告繳交日期： 106年10月20日		
出國人員 自我檢核	計畫主辦 機關審核	審 核 項 目		
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1.依限繳交出國報告 2.格式完整(本文必須具備「目的」、「過程」、「心得及建議事項」) 3.無抄襲相關資料 4.內容充實完備 5.建議具參考價值 6.送本機關參考或研辦 7.送上級機關參考 8.退回補正，原因： (1)不符原核定出國計畫 (2)以外文撰寫或僅以所蒐集外文資料為內容 (3)內容空洞簡略或未涵蓋規定要項 (4)抄襲相關資料之全部或部分內容 (5)引用相關資料未註明資料來源 (6)電子檔案未依格式辦理 (7)未於資訊網登錄提要資料及傳送出國報告電子檔 9.本報告除上傳至出國報告資訊網外，將採行之公開發表： (1)辦理本機關出國報告座談會(說明會)，與同仁進行知識分享。 (2)於本機關業務會報提出報告 (3)其他_____		
出國人簽章(2人以上，得以1人為代表)		計畫主辦機關審核人	一級單位主管簽章	機關首長或其授權人員簽章